

令和3年度
(一社) 静岡県臨床衛生検査技師会
第2回理事会

日時 令和3年7月31日(土)
午後3時00分～午後5時00分
場所 (一社) 静岡県臨床衛生検査技師会事務所及びWEB開催

令和3年度（一社）静岡県臨床衛生検査技師会 第2回理事会

日時：令和3年7月31日（土） 午後3時00分～午後5時00分

場所：（一社）静岡県臨床衛生検査技師会（以下、静臨技）事務所及びWEB開催

出席者：現在役員数20名（理事18名・監事2名）

大石和伸 羽切政仁 須田達也 齋藤晴義 坂根潤一

深澤邦俊 高林保行 石井浩崇 中村孝始

高橋詩帆 加茂川暢彦 松浦裕、前澤圭亮 直田健太郎

武藤淳 齋田英之 久留島幸路（書記）

藤原誠（監事）

（18名／全20名中 うち理事17名／18名 監事1名／2名）※敬称略

欠席者：鈴木篤 廣野裕章（監事）

議長及び議事録署名選出

議長 大石和伸

議事録記名人 羽切政仁 深澤邦俊 高林保行 藤原誠 廣野裕章

1 前回議事録確認		(坂根)
2 日臨技・中臨技関係	事前配信資料	(大石・直田)
3 第60回中部圏支部医学検査学会		(羽切)
4 各部報告・審議事項		(各部局長・理事)
・ 学術部		(羽切)
・ 組織及び連盟		(深澤・松浦・石井)
・ 広報部		(高林)
・ 会計部		(齋藤)
5 事務局関連		(坂根)
6 その他		(中村・須田)

報告事項及び議題 ※敬称略

【報告事項及び議題】

1. 前回議事録確認（坂根事務局長）

令和3年度第1回理事会議事録について確認した。

2. 日臨技・中臨技関係

中臨技（大石会長）

1) 中部圏支部学会について

9/25～富山、現地開催からオンデマンド開催に変更。一般演題、部門企画もオンデマンド。

一般演題は103題エントリー。各県から座長推薦を行った。静岡県からは次回来年10/8-9沼津市での学会開催とポスター送付の案内を行った。

2) 日臨技共同事業について（検査と健康展、職能開発講習会、リーダー育成研修会）

検査と健康展は三重県、石川県、岐阜県開催。他は中止。

3) 臨床検査技師へのタスク・シフト／シェアに関する厚生労働省指定講習会

8/29 藤田医科大学で開催。静岡県から11名参加、来年1月から4回静岡県開催リーダーとして運営していく。

→県開催時の準備として医師へのアポイントはどうするか 8/29参加時に直接医師に確認

→8/29の交通費、宿泊はどのようにすればよいか 日臨技負担 参加者分手配（羽切）

4) 新型コロナウイルスワクチン接種研修について

静岡県では119名研修受講。静岡県健康福祉部からは県として臨床検査技師にというよりは、やってくれるのであればくらい。受講者5名に講師1名必要、講師はこちらで手配する必要がある（看護師は看護協会）。歯科医師への研修会開催中のため、終了後に確認。

他県も同様。愛知県は技師会がアプローチし、臨床検査技師がワクチン接種を行っている。

Web基礎研修者182名、実技研修は基礎研修修了者。いつ受けられるかの問い合わせはあるが、県（行政）からの連絡待ち。広報部で静岡臨技ニュース、静岡臨技HPに掲載済み。

5) 臨地実習指導者講習会の参加について

県から1～2名。1名は坂根事務局長。希望する場合は技師会事務所に8/3までに連絡。

ZOOMによる研修会。参加者は中部圏支部で開催する指導者講習会でファシリテーターを行う。

日臨技（直田）

1) 臨床検査技師へのタスク・シフト／シェアに関する厚生労働省指定講習会

名称「タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」に決定

実務者講習会費用：日臨技負担、一般参加者会費：10,000円

会場費（静岡臨技混合）：想定50,000円

実務者：「運営コーディネーター」任期2年、施設により委嘱状必要か確認

2) 「役員の報酬及び費用に関する規定細則」の改定及び「謝金及び旅費の支給に関する規定」の制定について

日臨技では Web 参加に関する日当を廃止し、謝金とする方針。謝金については源泉徴収が必要。日臨技理事が理事公務として Web 会議に参加した場合は完全無給となる。

- 3) 令和 3 年度予算の修正及び予算修正に伴う事業計画の修正について
内閣府に提出された公益目的支出が大きく上回ることから、厚労省から指摘を受ける前に修正予算が計上され承認された。
- 4) 臨地実習指導者講習会の実施内容について
スライド資料臨地実習指導者講習会 説明のポイント及び資料 25 参照
- 5) 支部研修会の Web 開催時の参加費について
支部研修会は最低でも 1,000 円は頂くことになった。基本的に受益者負担であるため。
- 6) 認知症 WG「アルツハイマー月間」に伴う活動について
日臨技より HP に掲載できる画像が提供されるので掲載してほしい。
アルツハイマー月間として各地臨技でもオレンジ色等工夫してもらえるとありがたい。
→静臨技 HP のスライドショーにアルツハイマー月間、厚労省のリンクを貼る。9 月 1 か月。
- 7) 第 71 回日本医学検査学会（大阪）の参加費について
ハイブリッド開催の提案。費用が高いため、現地及び Web の参加費を同額としたい。
事前参加費：9,000 円、会期中参加費：10,000 円
- 8) 滝野専務より
悪意を持って訴えられないよう、著作権には十分配慮を。

3. 第 60 回中部圏支部医学検査学会について（羽切）

報告事項

- 1) 次回開催予告（資料 1）
メールによる理事会協議をおこない、次回予告が完成した。富山の案内冊子に掲載。
- 2) 講演関連
特別講演は静岡県立がんセンター感染症内科部長の倉井華子先生に、教育講演は浜松医科大学医学部臨床検査医学教授の前川真人先生に依頼し、両名より講演の快諾を得た。一方、市民公開講演を静岡大学教育学部准教授の加藤英明先生に依頼したが、講演料の折り合いが着かなかった。
- 3) 部門別シンポジウム
各学術部門長へ開催案内冊子に掲載する部門別シンポジウムの「テーマ」と「ねらい」について、2021 年 8 月 7 日（土）までに提出するよう依頼した。現時点で生物化学分析部門と輸血細胞治療部門の 2 部門から提出を受けている。

審議事項

- 1) 支部シンポジウムについて（資料 2）
シンポジスト：職場長

依頼内容

- ・新型コロナウイルス感染症の経験から学んだこと、感じたこと、これから
- ・自職場の将来を見据えた、職域の拡大・業務の効率化・品質保証・人材育成・・・
職場の未来

→承認 説明・意図・趣旨を説明し進めていく。

中部圏支部長（岐臨技会長）と連絡を取り調整。

協議事項

1) 会場および集客数について

- コンベンションホール A=1,000名（500名）・・・機器展示場？
- コンベンションホール B=400名（200名）・・・講演会場？
- 会議室5部屋=各120名（60名）・・・分科会会場
- 多目的ホール 1/3=1,380名（690名）・・・懇親会場？（立食800名→400名）

参加費5,000円として、参加人数1,000人=500万円、500名=250万円、400名=200万円、200名=100万円。ちなみに会場費は150万円。

→WITH コロナの状況を考え、会場の半分の人数を想定して進める

2) 市民公開講演について

- ① iZoo 園長に講演を依頼した場合の講演テーマ
- ② 30万円で講演をしてくれそうな著名人
- ③ 市民公開講演はナシにできないモノなのか？

→なしの方向で進める

3) 開催形式について

→集合型、Web型、ハイブリッドも考慮

4. 各部報告・審議事項

学術部（羽切）

報告事項

1) 研修会申請・生涯研修登録

①開催申請

- 20210904 第1回 臨床一般部門研修会（Web型）
- 20210911 第1回 臨床微生物部門研修会（Web型）
- 20210911 染色体遺伝子部門・病理細胞部門合同研修会（Web型）
- 20210918 第1回 臨床血液部門研修会（Web型）
- 20210710 第2回 臨床生理部門研修会（Web型）

②終了申請

- 20210523 第1回 輸血細胞治療部門研修会（Web型）

20210626 第1回 生物化学分析部門研修会 (Web型)

20210710 第1回 臨床生理部門研修会 (Web型)

2) 日赤との委託契約について

実技研修用の資料として使用する献血血液の譲渡に関する日赤との委託契約について、メール審議を行い承認された。

3) 学術部門員の変更について

臨床検査総合部門の部門員である内藤真希さん（静岡県立総合病院）の退任にともなう齋藤彩香（静岡済生会総合病院）への変更、および生物化学分析部門の部門員である川添由起さん（静岡済生会総合病院）の退任にともなう芦川直輝さん（順天堂大学医学部附属静岡病院）への変更、また病理細胞部門の部門員である本多譲さん（中東遠総合医療センター）の退任にともなう村木真里さん（磐田市立総合病院）への変更について、メール審議を行い承認された。

4) 精度管理実務員の変更について

臨床化学・免疫血清部門の実務員である川添由起さん（静岡済生会総合病院）の退任にともなう芦川直輝さん（順天堂大学医学部附属静岡病院）への変更について、メール審議を行い承認された。

5) 臨床生理部門員の選出協力依頼文の発出について

臨床生理部門においては、部門員の安定確保を目的に、2014年度より基幹病院内でローテーションによる部門員の選出をおこなっており、次年度に向け、会員施設へと協力依頼の文書を学術部より発出した。

6) 精度管理血液試料の提供協力施設について（資料参照）

現在、静岡県精度管理調査の血算試料を岡根谷委員のご施設である JCHO 桜ヶ丘病院よりご提供協力を受けているが、施設事情により令和4年度以降は試料提供が困難であるとの報告を受け、血算試料調製の都合上、精度管理試料の梱包作業当日早朝に採取・分注してそのまま中北焼津支店へ持参するため、中部地区の理事に協力を依頼したところ、深澤副会長のご施設（静岡済生会総合病院）が協力していただけることとなった。

→窓口：担当部門長

7) 令和3年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第59回）一般演題座長候補推薦について

中部圏支部学会（富山臨技）からの令和3年度日臨技中部圏支部医学検査学会（第59回）における一般演題の座長候補推薦依頼に対し、臨床微生物（栗田泉氏：島田市立総合医療センター）、臨床血液（市川佐知子：JA静岡厚生連遠州病院）、臨床一般（金崎悠：聖隷沼津病院）、臨床生理（鈴木駿輔：静岡県立総合病院）以上4名を学術部より推薦した。

8) 令和3年度衛生検査所立入検査の実施について

静岡県健康福祉部医療局医療政策課長より令和3年度衛生検査所立入検査の実施について精度管理専門委員の派遣依頼が通知された。

審議事項

1) 講師敬称の統一について

各学術部が研修会案内を作成しており、講師継承が統一されていなかった。
検査技師は「技師」、医師・教授・講師は「先生」、メーカーは「氏」統一
→承認

2) 日臨技生涯教育推進研修会の補助金について（加茂川理事）

静臨技学術部門研修会で赤字の場合、日臨技より1研修会につき事業推進費3万円、参加人数1名につき500円×人数分（40人まで最高20,000円）。以前は集合型で赤字ものもあり補助金申請していたが、昨今Web型になり交通費や会場費が必要なくなり、黒字の研修会が多くなった。今後補助金が貰えない研修会が出てくることを承知していただきたい。補助金が出なくても静臨技会計としては問題なし。

→承認

協議事項

1) 中外製薬からのセミナー後援依頼について（資料）

中外製薬主催の病理コンパニオン診断・病理セミナーの後援依頼。

→賛助会員であれば可。承認。

組織部及び連盟

1) 各種表彰について（深澤）

【令和4年度「春の叙勲・褒章候補者の推薦についてについて依頼】

静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が、2021年6月1日（月）

⇒調査依頼（5/28まで）⇒該当者なし

【令和3年度公衆衛生事業功労者表彰候補者の推薦について依頼】

静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が、2021年7月5日（月） ※資料

⇒推薦依頼（6/30まで）⇒該当者なし

【第54回衛星教育奨励賞表彰候補者の推薦について依頼】

静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が、2021年7月5日（月） ※資料

⇒推薦依頼（6/30まで）⇒該当者なし

【第50回医療功労者候補者推薦について依頼】

静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が、2021年8月13日（金） ※資料

⇒推薦依頼（8/5まで）⇒該当者なし

【令和4年度春の外国人叙勲候補者の推薦について依頼】

静岡県健康福祉部医療政策課あて報告期限が、2021年8月9日（金） ※資料

⇒推薦依頼（8/5まで）⇒該当者なし

【令和3年度永年職務精励者表彰】

総会にて報告

表彰状・記念品の送付

【令和3年わかふじ奨励賞・学生奨励賞表彰】

総会にて報告

表彰状・記念品の送付

2) 会員の異動について（深澤）

令和2年5月分の異動確認済み⇒メール承認⇒静臨技会報7月号に掲載

令和2年6月分の異動確認済み⇒メール承認⇒静臨技会報8月号に掲載予定

3) 求人情報掲載について（松浦）

前回理事会報告 5月30日から7月29日まで⇒掲載依頼6件、削除依頼5件

4) 技師連盟関連、活動報告（石井）

【活動内容】

6/11 第2回連盟執行委員会（メール審議）

6/12 静臨技事務所にて宮島喜文会長講演

6/25 令和3年度日本臨床検査技師連盟常任委員会

7/17 第3回連盟執行委員会

（組織部報告、協議事項2 別紙提出）

1) 会員名簿発行部数について

昨年実績 印刷600部、配布512部

→昨年同様、承認

2) 名簿回収文書について

資料参照

→昨年同様、修正があれば連絡を

3) スタートアップ研修会について

今年度はまだ親睦会のような催しは難しいか。

Web研修、Web親睦会はどうか。技師会や連盟のしくみについて説明の機会としては。

開催目的や研修内容、開催の有無について協議

→8:6で開催する方向、組織部で実施する方向で検討していただく

4) 連盟より来年も病院訪問や施設での講演は難しいと考えられるが、参議院選挙に向け

各県の地区（静岡県では東・中・西部）に連絡責任者を配置したいとのこと

組織部で選任するか、役員改正を考え次年度も継続できる人がよい。

Webがメインなら支部長にお願いするか。総会、選挙の時期も考慮。

→業務内容を確認した上で、連絡責任者を決定していく

→連盟への加入状況について、理事施設で未加入施設7割。ぜひ加入協力を。

自民党継続振込書が届いている方は、石井理事へ送付を。事務所にも振込書あり。

渉外広報部（高林）

報告事項

- 1) 2020年度と2021年度の掲載広告申し込み状況は資料の通り。
- 2) 静臨技ホームページの会員専用情報のページについては、進捗無し。

協議事項

1) Web サイト変更について

- ・総会での会員意見で静臨技ニュースのデジタル運用に変更の件や総会の議決権行使をWebで行う電磁的方法の件などがあり検討が必要。
- ・会員情報のページはパスワードで閲覧してセキュリティー強化したWebサイト修理費の見積もりは594,000円(昨年)。
- ・会員情報のページは、会員全員にあらかじめパスワードを送付してそのパスワードを入力してもらう。
- ・日臨技のパスワードとは別物。
- ・定期的なパスワードの変更と会員へのパスワード配布も今後必要。
- ・会員情報ページ対応は静臨技ニュース、役員名簿、予算報告、新規会員名簿。
- ・会員名簿はPDFファイルのため、随時更新は難しい。

維持費用は、紙面希望の対応はどうか、原則なし？施設と個人の不公平感がある。
印刷は可能とするか。会員へのサービス還元として行うか。

→HP変更（パスワード設定）に向け進めていく。承認。

会計部（齋藤）

報告事項

- 1) 4、5月分の会費の入金あり

6. 事務局関連

1) 共催について

日本検査血液学会静岡支部サーベイ報告会、毎年共催となっている

→承認

7. その他

- 1) 令和3年度静臨技定時総会、第9回静岡県医学検査学会について（中村）
定時総会：会員96名参加、県学会：会員83名、賛助会員1名参加
学会ご協力の御礼：丸田副会長宛て
- 2) 伊豆市社会福祉イベントについて（須田）

昨年に引き続き中止

3) 次回開催について

次回開催は9月中旬～下旬を予定。

書記 久留島 幸路

一般社団法人 静岡県臨床衛生検査技師会

議長 大石和伸

氏名 _____ 印

議事録記名人

羽切政仁 深澤邦俊 高林保行 藤原誠 廣野裕章

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印

氏名 _____ 印